

## 無症状 PCR 陽性という一群の存在—無料の PCR 政策の目標は—

通常の感染症では、症状や一般検査所見から特定の疾患を疑い、菌・ウイルス検査、抗原キット、抗体検査などを加えて総合的に診断します。しかし、コロナ感染症の Gold Standard が PCR 陽性である限り、無症状 PCR 陽性例が存在します。

インフルエンザ蔓延期において無症状例を対象に無作為にインフルエンザウイルス PCR 検査を施行すればこのような一群が存在する可能性があります。インフルエンザが二類ではないため、疫学調査目的以外にそのような群を検出する必要性はありません。同様に、臨床症状から確定診断される水痘でも、感染児童の周囲の無症状の学童のなかに水痘ウイルス PCR 陽性例が存在する可能性もあります。

現在のコロナ感染症に対する政策である「濃厚接触者全員に対して PCR 検査」を行えば、無症状の PCR 陽性者が検出されます。症状出現 1～2 日前の無症状期をたまたま捉えられた可能性はありますが、終始無症状の人も一定の数で存在します。コロナ感染症は二類に分類されているので、このような一群の人も、コロナ感染症として保健所管理、感染症法に沿って行動が規制されます。この政策が妥当であるかの判断には、この一群がコロナ感染症全体のなかでの占める割合の情報がない限り不可能です。

昨年の天理大学ラグビー部寮における集団感染における濃厚接触者調査では、寮生全員に対して PCR 検査が施行され、40%が PCR 陽性その約半数が全く無症状でした。例えば接触 2 日目の PCR 検査が陰性であっても、隔離の 14 日間の間に無症状の陽性者になる可能性はあります。疫学として検査するなら、濃厚接触後 14 日間にわたり、疫学調査として毎日 PCR 検査を行えば、特定の集団の中に全く無症状な例どれくらいの割合で存在するかが判明できるでしょう。

2022 年 1 月から「無料の PCR 検査」という政策が実践されています。この政策の目標は何でしょうか？感染について不安を持つ無症状の人に対して「PCR 検査を行い、陰性であれば安心する」というのは人間の心理として納得できます。しかし、「陽性者をできるだけ多く見つけだし、それらを隔離すること」であれば、それによりコロナ感染症の蔓延の防止に寄与できるでしょうか？

過去 1 ヶ月間このサービスを行っている西宮の某薬局では、PCR 検査として採取した唾液を木下産業に送り本人への結果連絡もそこから行われるとのことでした。同時に施行されたロッシュ製の抗原キット検査では約 200 名に対して陽性者が 4 名とのことでした。対象が 200 名と少なく、鼻腔での擦過採取に被験者が慣れていないのでこの数字が絶対ではないですが陽性率は 2%になります。東京では昨日の PCR 陽性が 1.5 万人でしたが、人口 1400 万人全例に抗原検査をすれば 28 万人の陽性者がでる計算になります。1.5 万人に隔離政策

をして、28万人を放置する政策は有用ではないのは理解できると思います。

一方、この政策には、陰性であったら感染していないと判断し行動してもよいなど間違った知識を一般人に与える危惧があります。そして、本当に陰性であっても有効期間はほんの2～3日でしょう。西宮市での有症状で約50%の陽性率、無症状でも2%と高い陽性率であることを考慮すれば、一時的な陰性証明でも不可能であることを意味します。

この政策の意義は、疫学調査として無症状の多くの集団での陽性率を算出し、今後のコロナ感染症対策に生かすことであると思います。母数を多くしてもこの2%が正しいなら、無症状に人に対しては検査をするのではなく、通常の感染症対策を国民全員に常時徹底させるという方針しかないように思います。濃厚接触者も含めて無症状の人に対しては症状がでるまでPCR検査をしないというのを国で決めれば検査セットの不足も改善するのではないのでしょうか

先日、私の友人の奥様が軽い風邪症状で抗原検査が陽性になりました。その友人は濃厚接触ということで10日の自宅隔離（奥様が感染から回復と考えられた10日目からなお10日間の隔離が国のルールです）を言い渡されました。しかし、夫婦2人ともにPCR検査は行われず、保健所からの健康チェックも5日目まではなかったとのことでした。これは、国から課された業務を保健所が物理的に完遂できない状況と考えられます。国自身がこの事実を認めることが、コロナ感染症対策についての新しい議論をすすめるための最初のステップです。

仕事量が多すぎて遂行が無理であるという現場の判断を上層部（国）に伝える、上層部は現場の判断を客観的に裁定する、そして、結果的に間違った政策であったと判断すれば潔くその間違いを認め、「官僚の無謬性」から脱却しないと政策としての改善は望めません。2007年の新型インフルエンザでの経験が今回にほとんど生かされていないと感じるのは、この日本の政治体制の問題ではないかと思っています。